ゼンコ

生薬の性状及び確認試験の項を次のように改める.

生薬の性状

1) *Peucedanum praeruptorum* Dunn　本品は細長い倒円錐形～円柱形を呈し，下部はときに二股になる．長さ 3～15cm，根頭部の径は 0.8～1.8cm である．外面は淡褐色～暗褐色を呈し，根頭部には多数の輪節状のしわがあり，毛状を呈する葉柄の残基を付けるものもある．根にはやや深い縦じわ及び側根を切除した跡がある．横切面は淡褐色～類白色を呈する．質はもろい.

本品は特異なにおいがあり，味はわずかに苦い.

本品の横切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，最外層はコルク層からなり，一部のコルク細胞は内側の接線壁が肥厚する．その内側には厚角組織がある．皮部には多数の油道が散在し，空隙が認められる．師部の先端部には師部繊維が見られることがある．木部には道管が認められ，油道が散在する．柔組織中に認められるでんぷん粒は 2～10 数個の複粒である.

2) *ノダケ Angelica decursiva* Franchet et Savatier　本品は 1)と同様であるが，根頭部に毛状を呈する葉柄の残基をつけない.

本品の横切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，本品は 1)と同様であるが，コルク細胞の細胞壁は肥厚せず，師部の先端部には師部繊維を認めない．また，木部中には油道が認められない.

確認試験

1) *Peucedanum praeruptorum* Dunn　本品の粉末 1gにメタノール 10mLを加え，10 分間振り混ぜた後，遠心分離し，上澄液を試料溶液とする．別に薄層クロマトグラフィー用(±)－プラエルプトリンA 1mgをメタノール 1mLに溶かして標準溶液とする．これらの液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液及び標準溶液 10μLずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする．次にジエチルエーテル／ヘキサン混液(3：1)を展開溶媒として約 10cm展開した後，薄層板を風乾する．これに紫外線(主波長 365nm)を照射するとき，試料溶液から得た数個のスポットのうち 1 個のスポットは，標準溶液から得た青紫色の蛍光を発するスポットと色調及びR_fが等しい.

2) *ノダケAngelica decursiva* Franchet et Savatier　本品の粉末 1gにメタノール 10mLを加え，10 分間振り混ぜた後，遠心分離し，上澄液を試料溶液とする．別に薄層クロマトグラフィー用ノダケニン 1mgをメタノール 1mLに溶かして標準溶液とする．これらの液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液及び標準溶液 10μLずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする．次に酢酸エチル／メタノール／水混液(12：2：1)を展開溶媒として約 10cm展開した後，薄層板を風乾する．これに紫外線(主波長 365nm)を照射するとき，試料溶液から得た数個のスポットのうち 1 個のスポットは，標準溶液から得た紫色の蛍光を発するスポットと色調及びR_f値が等しい.